

タイトル	インターネットの囚人
ポーランド語のタイトル	Więźniowie Internetu
テーマ *	B. 現代の諸問題
名前	カタジーナ・サヴィツカ
ポーランド語の名前	Katarzyna Sawicka
学校名	UMK日本学科
学年	2年生

人間は拘束されることがきらいです。それなら、どうして自ら進んで IT 技術に拘束されることを許すのでしょうか。

現在、私達は一日中どこでも情報技術に囲まれています。自分の生活を Facebook に公開して、プライベートなことを書いたり、写真をみせたりするのは若者に一番大切なことになってきました。いつもスマートフォンで Facebook や YouTube を見て時間を過ごし、家族と食事をする時でも、いつも画面を覗いています。こんな技術の開発が進むにつれて、人とのコミュニケーションが悪くなってきました。

ある日、私が日本人の友達に「どうしてポーランドが好きなの」と聞くと、「日本に比べると、人がもっと一緒に時間を過ごして、直接話しているからだ。日本では IT 機器で遊んでばかりで、よく一人ぼっちで、さびしくなるよ」と答えました。それは本当でしょうか。

私が高校の時、クラスに変わった同級生がいました。彼は誰とも話さないで、いつもスマートフォンで SNS を見たり、音楽を聞いたり、ゲームをしたりして、いつも一人でした。もし誰か話しかけても、彼は怖がって、押し黙ってしまいました。彼には友達がいたか、いなかったか、おそらくネットの友達しかいなかったようです。

また、私の小学校生のいとは近所の子供達と全然遊ばないで、ネットのゲームや SNS がいいと言っています。それを聞く度に、私はとても悲しくなって、友達と外で遊んでいた楽しい自分の子供のころを思い出します。私はどのようにしたらこの子の態度を変えることができるのか、毎日考えています。

その一方で、一人になるのがこわい若者は、どこでもスマートフォンで、Twitter や Facebook を 5 分おきにチェックして、自分がどこで何をしているか、何を食べているか、書いています。このようにインターネットは第 2 の人間関係の世界になってしまいました。

私たちの社会で一番大切なのは友情や愛情、家族などではないでしょうか。それなら、どうしてほとんどの人、特に私たちのような若い人間は、そのことを忘れてしまったのでしょうか。それは、もしかしてスマートフォンが鎖になって、私たちをインターネットの刑務所に閉じ込めてしまったからに違いありません。

ですから、皆さん。時々はお出かけの時にスマートフォンをうちにおいて、友達と会ってください。家族と食事をする時も、SNS をチェックしないでください。私たちが良いモデルになって子供達の生活態度を変えましょう。そして、皆で、このネット社会の鎖を断ち切りましょう！！

Podsumowanie (60-70 słów)

Szybko rozwijająca się technologia wkroczyła w nasze życie nieodwracalnie, zmieniając sposób w jaki ludzie komunikują się ze sobą. Czy dla młodych ludzi, takich jak my, najważniejszy stał się wirtualny świat? Czy realne związki międzyludzkie schodzą na drugi plan? Czy staliśmy się więźniami Internetu, a smartfony naszymi kajdanami? Może czasem warto wyjść ze znajomymi, a telefon zostawić w domu?